

会 社 名 東福製粉株式会社  
 代 表 者 取締役社長 野上 英一  
 (コード番号 2006 東証第2部・福証)  
 問 合 せ 先 総務部長 進藤 孝  
 TEL (092) 781 - 1661

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年 11月 21日の決算発表時に公表致しました平成20年9月期通期(平成19年10月1日～平成20年9月30日)の連結及び個別業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせ致します。

## 記

## 1. 20年 9月期 通期業績予想数値の修正(平成 19年 10月 1日 ～ 平成 20年 9月 30日)

## (1)連結通期業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年11月21日発表)	4,020	55	63	60	6 円 00 銭
今回修正予想(B)	4,020	100	95	70	7 円 00 銭
増減額(B-A)	—	45	32	10	1 円 00 銭
増減率	—	81.8	50.8	16.7	—
前期(平成19年9月期)実績	3,821	△ 40	△ 11	25	2 円 60 銭

## (2)個別通期業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年11月21日発表)	3,900	20	6	3	0 円 30 銭
今回修正予想(B)	3,900	80	50	25	2 円 50 銭
増減額(B-A)	—	60	44	22	2 円 20 銭
増減率	—	300.0	733.3	733.3	—
前期(平成19年9月期)実績	3,718	△ 72	△ 92	△ 55	△5 円 52 銭

## 2. 理 由

当期は、平成19年11月21日に公表しておりました連結及び個別の通期業績予想に差異が生じる見込みとなりましたので、平成20年9月期通期業績予想を修正いたします。

売上高につきましては、連結及び個別ともほぼ予想通りに推移しておりますが、営業利益、経常利益、当期純利益において差異が生じる見込みとなりました。

当期の経営環境は、原油の高騰に起因した諸経費の増加及び天候不順やバイオエタノールに起因した穀物相場の高騰による小麦の政府売渡し価格の引き上げがありました。

このような中、個別においては多種混合のコスト高製品の製造を極力抑えるなどの製造効率の向上と販売強化及び経費の削減に努めました結果、売上原価が改善され利益面で予想を上回る見込みとなりました。

又連結業績におきましても個別の業績が反映し予想を上回る見込みとなりました。

以 上